

よりよい人間関係を築こうとする自主性・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立中里中学校

1 はじめに

よりよい人間関係を築こうとするなかで、身に付けたい力として「他者や集団と関わろうとする意欲」が自主性・実践的な態度を育てるのではないかと考えている。来年度から、中里中は新校舎になり、小中学生が同じ校舎で学ぶことになる。よって、小中学生が合同で行う、「オリエンテーリング」「小中合同マナーアップキャンペーン」の2つに力を入れた。

2 資料

(1) オリエンテーリングについて

ア オリエンテーリング活動を通し、地域について主体的に知るとともに、班の中で異学年が協力しながらポイントをクリアし、生徒・児童相互の連帯感を深めることを目的としている。



出題された問題に対して小中学生が協力して解答したり、声を掛け合って長い距離を歩いたりしている姿が見られた。この行事を通して、他者や集団と関わろうとする意欲が高まった。

(2) 小中合同マナーアップキャンペーンについて

人間関係をよりよく構築しようとしたり、集団生活や社会をよりよく形成しようとしたり、人間としての生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしたりする態度を養うことを目的とし、2日間小中合同で行った。



小学生、中学生が協働して、地域の方や通る車に対して大きな挨拶をすることができていた。また、中学生が小学生に声をかけて、人間関係をよりよく構築しようとする姿が見られた。

3 成果と課題

それぞれの行事や活動を通して、他者に関わろうとする力や関わろうとする意欲の向上が図れた。しかし、個人差もあり、関わる力を十分に高められなかった児童生徒もいたことが課題である。今後は、一人一人の問題意識を高め、自分の事として捉えさせるための指導や意欲を継続させる工夫が必要であると感じた。